

# 南予生物 (2011) Vol. 16

## 目 次

### <本論文>

野村町十文田の森周辺における両生類, 爬虫類, 哺乳類相 .....	高橋弘明・河野正人・畠中誉博・渋谷雅紀	1
愛媛県八幡浜市感潮域の魚類.....	辻 幸一・松田久司	12
御荘湾の汽水性動物プランクトン調査.....	大本将人	39

### <短 報>

カイコの飼育活動を見た中学生の意識.....	寺田 勉・佐伯英人	49
愛媛県八幡浜市八代において自動撮影された哺乳類.....	松田久司・岩田功次	54
八幡浜市五反田川におけるゲンジボタルの発生状況とその制限要因.....	松田久司	61
宇和島自然科学教室「シロウオを知り隊」の教育効果.....	水野晃秀・佐伯英人	65

### <会員通信>

標本スケッチの新たな手法.....	高橋弘明	71
大洲市菅田町におけるバッタ目昆虫の観察記録.....	松田久司	74
鬼ヶ城山系からのヤマネの記録.....	平松 亘	76

### <そ の 他>

図書INFORMATION.....		78
編集後記・受贈文献・事務局より・投稿のお願い.....		80
南予生物研究会会則.....		84

### <表紙説明>

#### オオズタンポポ (仮称) 左: 全体, 右: 頭花

写真は2009年西日本タンポポ調査(予備調査)で和食ほか(2010)によってオオズタンポポ(仮称)とされたものである。今まで山本(1978)ではツクシタンポポとして扱われていたが, 染色体数が $2n=16$ の二倍体であり, 花粉が均一であることなどからオオズタンポポという仮称がついた(和食ほか, 2010; 松田ほか, 2010)。2009年の予備調査及び2011年の本調査によって, 本種は山口県長門市や高知県四万十町(旧窪川町)にもあることがわかったが, 本県の大洲市や愛南町(旧御荘町)の生育量は非常に多いことがわかった。特に本種は大洲市周辺に集中的に分布しており, 個体数も多く, 群落状のところもある。現在研究中であり, 今後とも本種の分布や生態, 生活史戦略などを明らかにしていく必要がある。

#### 文 献

松田真季・源紗耶加・橋越清一, 2010. (社)日本動物学会・(社)日本植物学会・日本生態学会 生物系三学会 中国四国支部山口大会公開シンポジウム講演要旨高校生ポスター要旨, 13.

和食敦子・藤川和美・橋越清一・松田真季・源紗耶加・渡邊幹男・芹沢俊介, 2010. 日本植物分類学会第9回大会研究発表要旨集, 75, 日本植物分類学会.

山本四郎, 1978. 愛媛県産植物の種類, 愛媛植物研究会.

写真・解説: 橋越清一(愛媛県立大洲高等学校)